

2027 年 入門講義法律の確認テスト

ふりがな

氏名_____

設問 1～20 のうち、妥当と思われる記述には○を、妥当でないと思われる記述には×をつけ、**間違っている記述の箇所にアンダーラインを引きなさい。**

- 1 法も道徳も共に規範として強制力を承認している ()
- 2 憲法と法律には、上下関係があり、制定の仕方においても違いがある。 ()
- 3 参政権(例・選挙権)は、日本に在留する外国人にも等しく保障される。 ()
- 4 たとえ国会の両議院の全議員が賛成してできた法律であっても、その法律が憲法の規定に矛盾、抵触する場合には当該法律の効力は認められない。 ()
- 5 外国人は、日本国憲法の定める基本的人権の享有主体ではない。 ()
- 6 権力分立の趣旨(目的)は、効率的な国家運営を実現することにある。 ()
- 7 国民の自由や財産を侵害する活動には、法律の根拠がないとできないと解されている。 ()
- 8 行政上の強制執行は、税金の滞納など行政上の義務の不履行に対して、裁判所によって行われる。 ()
- 9 いわゆる契約自由の原則は、契約をするか否か、誰とどのような内容の契約をするか等について、公の秩序や善良の風俗等に反しない限り、当事者間で自由に定めることができるとする原則である。 ()
- 10 物権は債権に対して優先的効力を有しており、同一の物について物権と債権が競合する場合は、物権が債権に優先するのが原則である。 ()

／ 10

質問・感想・要望など、何か書きたいことがあれば、以下に記入して下さい。